

はじめに ー赤ちゃんといっしょに絵本を楽しみましょうー

赤ちゃんは、さわってもらったり、体を動かしたり、周りの人の声を聞くことが大好きです。毎日の生活の中で、おむつをかえたり、お風呂に入ったり、だっこしたり、赤ちゃんといっしょに遊ぶうちに、たくさん呼びかけ、あやしてあげてください。心をこめて赤ちゃんといっしょに向き合う時間の積み重ねから、赤ちゃんは、周りの世界を知り、感情を育て、ことばを自分のものにしていきます。

このような赤ちゃんとの生活を応援するものの一つに、絵本があります。たくさんの中の中から探すのは大変とお思いの方のために、箕面市立図書館では、こんな本がありますよというご案内として、平成10年（1998年）に小冊子「赤ちゃんといっしょに絵本を楽しみましょう～0歳から3歳まで」を発行しました。

それから10年が経ち、赤ちゃんのための絵本が数多く出版され、読み聞かせも盛んになってきました。そこで、対象年齢を0・1・2歳にしぼり、新しい本を加えるなど一部の本の入れ替えを行って、改訂版「おひざでよんで～はじめての赤ちゃん絵本0・1・2歳」を発行することとしました。この冊子が皆様と絵本の架け橋になれば幸いです。

平成20年(2008年)3月

目次

	ページ
A. はじめてであう絵本	1
B. 少しなれてきたら	4
はじめての絵本Q&A	16
子育てにわらべうたを	19

A. はじめてであう絵本

赤ちゃんをおひざにのせて、絵本をひらいてみてください。書かれていることはやページの順番にはあまりこだわらないで、自由に読んでみましょう。「いないいないばあ」などのあそびうたや、ゆかいな擬音がいっぱい耳に心地よい本、ふれあいを楽しむ本などで、赤ちゃんといっしょに過ごす時間をゆったり楽しんでください。

『いない いない ばあ』（松谷みよ子あかちゃんの本）

松谷 みよ子／ぶん 瀬川 康男／え 童心社



親と子の最初のことばあそび、「いない いない ばあ」。誰もが経験した、この優しいしぐさと語りかけが、素朴で表情豊かな絵と絶妙にフィットした、代表的な赤ちゃん絵本。ページをめくると、目かくした動物が「ばあ」といいお顔をします。動物たちの「いないいないばあ」がくり返されていくたびに、子どもたちの表情も豊かになっていくことでしょう。

『おつむ てん てん』（あかちゃんとおかあさんの絵本）

なかえ よしを／さく 上野 紀子／え 金の星社

「さっちゃんがおつむ てんてん
ねこの にゃんこが それみて まねた
いぬの わんたが それみて まねた」
やわらかな色合いの絵と、ゆかいなことばの
くり返しでつづる、赤ちゃん絵本です。



『かお かお どんなかお』 柳原 良平／作・絵 こぐま社



たのしいかお、わらったかお、ないたかお、おこったかお、こまったかお、いたずらなかお…。

シンプルなデザインで、顔の表情をよくとらえた「表情」の絵本。年長の子や大人が見ても、くみとるものが豊かで、見あきません。

『がたん ごとん がたん ごとん』

安西 水丸／さく 福音館書店

汽車が「がたんごとん がたん ごとん」とやって来て、哺乳ビン、コップ、スプーンなどをのせながら進んでいきます。終点は、赤ちゃんが待っているテーブルの上。

リズムカルなことばをくり返す楽しさを、シンプルな絵が引き立てています。



『くっついた』 三浦 太郎／作・絵 こぐま社



「きんぎょさんと きんぎょさんがくっついた」ページをめくると、動物たちの口や鼻、手が次々にくっつきます。明るく、やわらかな色合いで描かれ、一緒に読んでいると、親子で「くっついた」とやってみたくくなりますよ。

『めんめん ばあ』(おでかけばいばいのほん) はせがわ せつこ／ぶん やぎゅう げんいちろう／え 福音館書店



かえるやことりが目を帽子で隠して、「めんめ いないない ばあーっ！」をくり返します。

赤ちゃんが相手の顔を見るとき、その視線は目に集中するので、「めんめ」とことばがくり返され、目がくっきり描かれています。

「ばあーっ！」のところで赤ちゃんとおそんでみてください。

『じゃあじゃあ びりびり』(まついのりこあかちゃんのほん)

まつい のりこ／作・絵 偕成社

「じどうしゃ ぶーぶーぶーぶー」

「いぬ わんわんわんわん」

私たちの身のまわりにはいろいろな音がいっぱいです。赤ちゃんはリズムのある音が大好き。おかあさん、おとうさんの優しい声で、何度も読んで楽しみましょう。



『ぴょーん』 まつおか たつひで／作・絵 ポプラ社



「ぴょーん」とはねるのは？かえるが「ぴょーん」、こねこが「ぴょーん」、いぬが「ぴょーん」。出てくる生きものたちがとびはねます。

「ぴょーん」とくり返すゆかいなことばのリズムと、楽しそうな生きものたちのようすに、親も子も思わずとびはねたくなる絵本です。